

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

<県北会場>

科目 ⑦特に配慮を必要とするこどもの理解

- ◆ 子どもに対する虐待は、脳の成長過程に悪影響を及ぼす重大な原因となることを学びました。虐待を疑われる児童がいるときは、結果的にそうではなかったとしても疑いがある以上は、発見した時点で通報しなければいけない義務があることも再認識しました。いろいろなケースの虐待があり、それを判断するのはとても難しいことですが、見落とししたり、見過ごしたりすることがないように子どもの一人ひとりの様子がいつもと違ってないかをしっかり見ていきたいです。
- ◆ この講義で、虐待と子どもの貧困について学びました。虐待は子どもの心身の成長や人格の形成に重大な影響を与え、心に傷をつけ、精神的な障がいや自分の子どもにも虐待をしてしまうことがあることを学びました。もし、支援していて虐待を受けているかもしれない子どもがいた場合、早めに発見できるように、講義で学んだ、子どもの様子や対応などを参考にしたいと思います。虐待も貧困も早期の発見が大事だと思いました。
- ◆ 秋田県では少子化にも関わらず児童虐待の受付件数が増えていることや、改めて児童相談所が担う役割等を知ることで、児童虐待は身体的、精神的に子どもに深刻な状況をもたらす最も重大な権利侵害であり、未然防止と早期発見で防いでいくしかないと理解しました。そして、子どもの様子や保護者の態度などから疑わしい時には通告する義務があることも学びました。虐待の兆候を見逃さない支援員の気付きが重要になることを理解して、これからの支援に努めたいと思います。
- ◆ 子どもたちを取り巻く環境は様々で大人が考えるよりも複雑化している。児童虐待や貧困など、一見ではわからない事例があることを今回の研修で学んだ。支援員として子どもの異変に気付き、正しい対応、対処の仕方を身に付けなければならないと思った。行政の施策や取り組みにもっと注目し理解して、子どもたちが笑顔で過ごせる環境作りや成長を末永く身守ることができる存在でありたい。
- ◆ 児童虐待は、子どもの数に限らず増えていると知りました。虐待を受けているかを見極めるのは難しいと思いますが、少しでも気になったら教育機関や職員間で共有していきたいと思います。虐待が少しでも減らせるように子どもの変化に気付けたらいいと思いました。また、子どもの貧困率やひとり親であることも関係しているのかと思いました。どんな事情があったとしても、子どもの未来を守っていかなければならないと思います。